

平成 29 年 度

工事数量算出要領改正内容

1. 平成20年2月28日付け事調第1103号農政部長通知文中の「記」以下を、次のとおり改める。

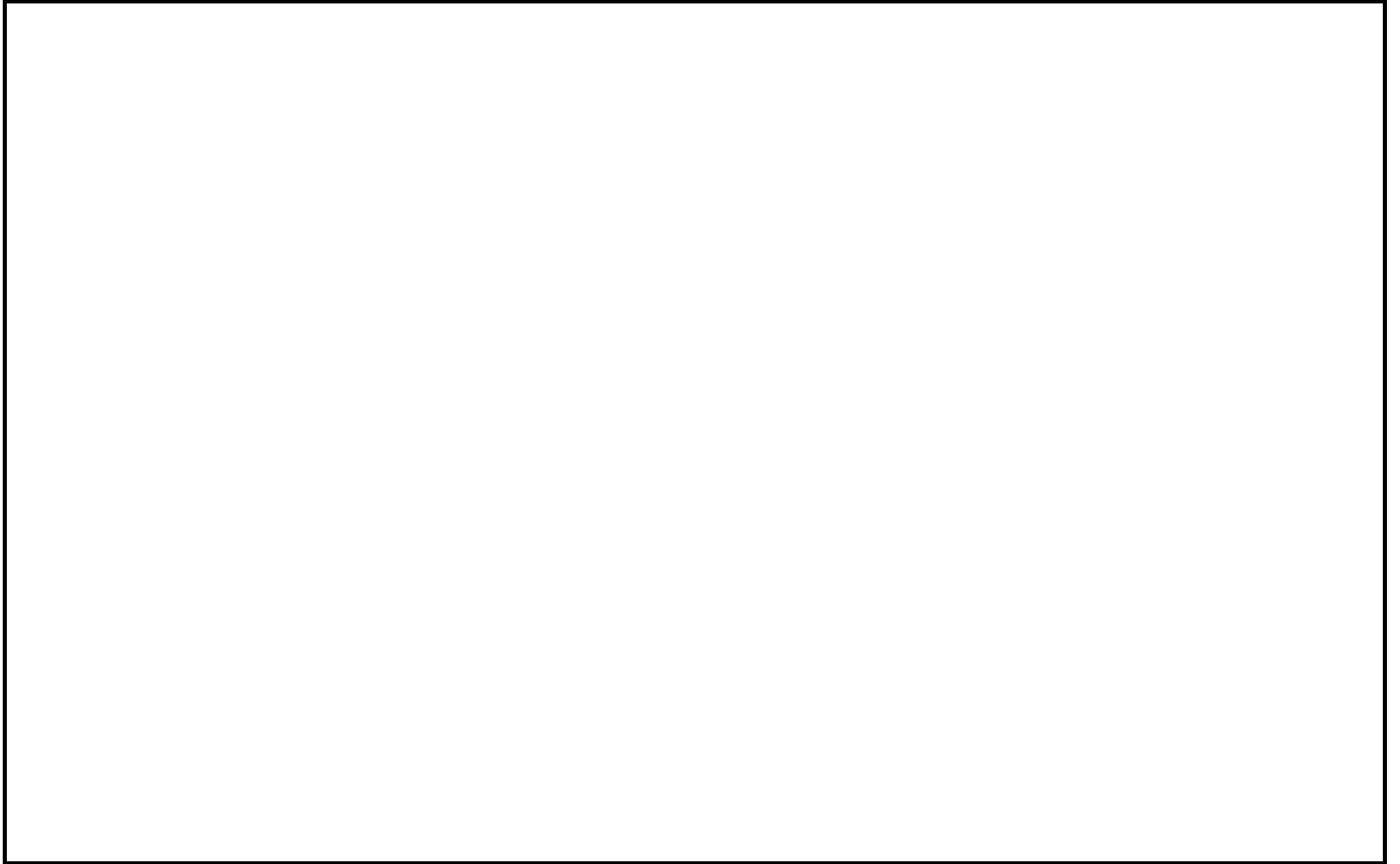
「記」以下変更内容（下線部変更箇所）

- 1 工事数量算出要領 別添、「工事数量算出要領」のとおり。
- 2 対応積算基準 「土地改良事業等適用標準歩掛」の制定について（平成17年9月29日付け事調第592号農政部長通知）
- 3 適用年月日 平成30年3月1日より適用する。

2. 改正内容は、別紙、平成29年度 工事数量算出要領改正一覧表のとおり。

平成 29 年 度

工事数量算出要領改正一覽表



平成29年度 工事数量算出要領の改正一覧表

【平成30年3月1日以降適用】

項目	名称	細目	改正内容
2章 土工	2.2 土工	2.2.1 土工 3.区分 4.数量算出方法 ・歩掛改正に伴う改正（歩掛は施工パッケージ単価へ移行）	詳細は、新旧対照表による。
		2.2.2 土工（道路工） 3.区分 ・歩道部の不陸整正は算出しない（積算対象としないため）	
	2.3 法面整形工	2.3.1 法面整形工 3.区分 ・歩掛改正に伴う改正（歩掛は施工パッケージ単価へ移行）	
3章 コンクリート工	3.1 コンクリート工	3.区分 ・歩掛改正に伴う改正（歩掛は施工パッケージ単価へ移行） 6.生コンクリート標準配合表 ・字句の追加（適用する構造物の代表例_C-9S）	詳細は、新旧対照表による。
	3.2 型枠工	3.区分 ・歩掛改正に伴う改正（歩掛は施工パッケージ単価へ移行）	
	3.5 目地・止水板設置工	タイトル名称の改正 ・歩掛の名称に合わせる。	
4章 法面工	4.2 植生工	3.区分 ・字句の追加（垂直高区分の追加）	詳細は、新旧対照表による。
5章 擁壁工	5.2 補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁）	1.適用 ・表および参考図の追加	詳細は、新旧対照表による。
	5.3 ジオテキスタイル工	4.数量算出方法 5.参考図（標準断面図） ・歩掛改正に伴う改正（植生土のう及び植生マットタイプは適用外となったため）	
	5.4 場所打擁壁工	5.4.1 場所打擁壁工(1) 5.4.2 場所打擁壁工(1) ・字句の改正	
6章 函渠工	6.1 函渠工	6.1.1 函渠工(1) 6.1.2 函渠工(1) ・字句の改正	詳細は、新旧対照表による。

平成29年度 工事数量算出要領の改正一覧表

【平成30年3月1日以降適用】

項目	名称	細目	改正内容
7章 基礎工	7.1 基礎・裏込砕石工	タイトル名称の改正 ・歩掛の名称に合わせる。	詳細は、新旧対照表による。
8章 構造物取壊し工	8.4 舗装版破碎工	1.適用 3.区分 ・歩掛改正に伴う改正（歩掛は施工パッケージ単価へ移行）	詳細は、新旧対照表による。
	8.5 舗装切断工	1.適用 ・字句の追加	
	8.6 殻運搬	数量算出要領の新設 ・歩掛改正に伴う追加（歩掛は施工パッケージ単価）	
9章 仮設工	9.4 仮設工	2.数量算出項目 3.区分 5.参考 ・字句の改正	詳細は、新旧対照表による。
	9.6 支保工	3.区分 ・字句及び表の追加（歩掛との整合による）	
13章 道路工	13.1 不陸整正	3.区分 4.数量算出方法 ・歩掛改正に伴う改正（歩掛は施工パッケージ単価）歩道部の不陸整正は算出しない。	詳細は、新旧対照表による。
	13.2 路盤工	1.適用 2.数量算出項目 3.区分 ・歩掛改正に伴う改正（歩掛は施工パッケージ単価へ移行）	
	13.3 路床安定処理工	1.適用 3.区分 ・歩掛改正に伴う改正（歩掛は施工パッケージ単価へ移行）	
	13.4 アスファルト舗装工	1.適用 2.数量算出項目 3.区分 ・歩掛改正に伴う改正（歩掛は施工パッケージ単価へ移行）	
14章 道路附属施設工	14.1 防護柵設置工	14.1.1 防護柵工（ガードケーブル工） 4.数量算出方法 ・字句の改正	詳細は、新旧対照表による。
	14.4 道路附属施設工	14.4.1 区画線工 3.区分 4.数量算出方法 ・表の改正（市場単価の廃止、土木工事標準単価の新設に伴う）	

平成29年度 工事数量算出要領の改正一覧表

【平成30年3月1日以降適用】

項目	名称	細目	改正内容
15章 鋼橋上部工	15.4 鋼橋架設工	4. 数量算出方法 ・字句の削除（歩掛の改正に伴う）	詳細は、新旧対照表による。
	15.5 仮設工	15.5.3 登り栈橋工 4. 数量算出方法 ・字句の改正（歩掛の改正に伴う）	
	15.7 橋梁付属物工	15.7.1 伸縮装置工 ・数量算出要領の全面改正	
16章 コンクリート橋上部工	16.2 架設工	16.2.1 プレキャストセグメント主桁組立工 ・数量算出要領の廃止（歩掛はH26年に廃止）	詳細は、新旧対照表による。
17章 橋台・橋脚工	17.1 橋台・橋脚工	17.1.1 橋台・橋脚工(1) 17.1.2 橋台・橋脚工(1) ・字句の改正	詳細は、新旧対照表による。
18章 フリューム類据付工	18.1 フリューム類据付工	18.1.1 柵渠工 3. 区分 4. 参考 ・字句の改正	詳細は、新旧対照表による。
		18.1.5 プレキャスト集水柵工 ・タイトル名称の改正（歩掛の名称に合わせる）	
19章 管水路工	19.3 管体工	19.3.1 管路布設工 3. 区分 ・歩掛改正に伴う改正（遠心力鉄筋コンクリート管のみ施工パッケージ単価へ移行）	詳細は、新旧対照表による。
20章 ほ場整備工	20.4 法面整形工	3. 区分 4. 数量算出方法 ・数量算出方法の改正（田差部分の法面積は全て積算対象とし算出することとした）	詳細は、新旧対照表による。
	20.5 暗渠排水工	20.5.4 集中管理孔の設置 3. 区分 ・字句の改正	
22章 参考資料	22.4 土量変化率の取り扱い	歩掛改正に伴う表現の改正 ・土量換算係数→ 土量変化率	詳細は、新旧対照表による。
	22.6 建設副産物の積算数量の算出	歩掛改正に伴う表現の改正 ・土量換算係数→ 土量変化率	

平成29年度 工事数量算出要領の改正一覧表

【平成30年3月1日以降適用】

項 目	名 称	細 目	改 正 内 容
23章 数量計算書書式 (例)	3 基礎工	書式の改正及び追加 ・改正 [鋼管杭] 及び [既製コンクリート杭]、追加 [場所打杭]	詳細は、新旧対照表による。